

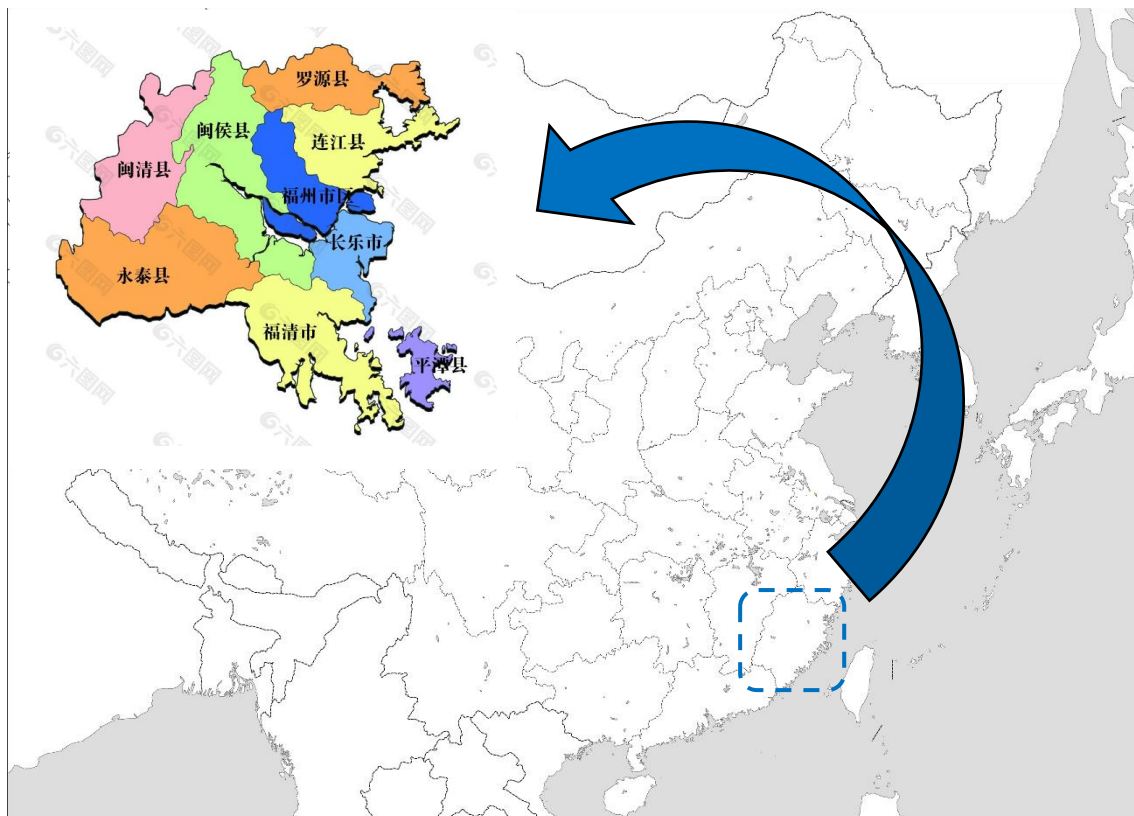
福建省、福州市の概況 2023 年

もくじ

(1) 基本データ	- 1 -
(2) 経済概況	- 2 -
(2) 経済概況	- 2 -
(3) その他情報	- 5 -
(4) 福建省指導者の略歴	- 7 -
(5) 福州市指導者の略歴	- 8 -

(1) 基本データ

◆福建省について



省都	福州市＜福建省の略称は「閩」（びん）＞
面積	124,000 km ²
人口	4,188 万人（福州市は 844 万人）
地級行政区	9 個（県級は 11）
書記	周祖翼（しゅう・そよく）※略歴は後述
省長	趙 龍（ちよう・りゅう）※略歴は後述

<地理>

中国大陸の南東に位置し、北側は浙江省、西側は江西省、南西方面は広東省と隣接する。また、海峡を挟んで台湾と接している。江西省と福建省の境界を成す武夷山脈は、海拔 1000 メートル前後で総延長は約 55 km におよぶ。

多くを山間地が占めるが、3751.5km におよぶ入り組んだ海岸線を持つなど、陸地面積の 8 割以上は山地か丘陵で省内の地域差が大きい。北東には閩江、南西では晋江という比較的大きな河川が流れる。

<気候>

山間部と海岸部など、地域によって大きな差はあるが、全般的には温暖な気候であり、「四季春の如し」とも言われる。

<歴史>

戦国時代に楚に滅ぼされた越王族が閩に逃げ込んだことで、閩越と呼ばれるようになった。紀元前 221 年、秦に征服されて閩中郡が置かれたが、秦末動乱期に閩越国として独立。東冶（現在の福州）を都とし、90 年以上にわたり漢に抵抗したが、武帝に滅ぼされた。

一方で、非漢民族はその後この地に長く勢力を保ったものの、唐代後期に沿岸地域を舞台に国内・海外貿易が盛んとなり、中原の戦乱を避けて様々な階層の人々が移住してきたことで、漢民族化が進んだ。

その後、王審知が閩を建国し、945 年には南唐に併合された。北宋時代から泉州に海上貿易の事務を担う市舶司が開かれ、明代まで存続した。これにより多くの文人・官僚を輩出し、わずか 300 年余で未開の地から、一大商業拠点に変貌した。

しかしながら福建は耕地が少なく、人口密度も過剰である一方、海上貿易が盛んであったため、さらなる飛躍を求めて多くの人たちが海外に移住した。現在の台湾の本省人や東南アジア華僑の多くは福建からの移住者の子孫である。

海流の関係で日本にも近く、近世には倭寇と結託して密貿易を行う福建人が多かったとされる。近年日本に渡った在住華僑の多くは福建出身である。

（２）経済概況¹

2022 年、福建省の域内総生産（GRP）は 5 兆 3,109 億元（前年比 +4.7%）、一人当たり平均の GRP は、126,829 元である。第 2 次、第 3 次産業がそれぞれ約半分を占める。

項目	湖北省 ※カッコ内は前年比	福州市 ※カッコ内は前年比
域内総生産 (GRP)	5 兆 3,109 億元（+4.7%） 第 1 次産業：3,076 億元（+3.7%） 第 2 次産業：25,078 億元（+5.4%） 第 3 次産業：24,955 億元（+4.0%）	12,308 億元（+4.4%） 第 1 次産業：683 億元（+3.0%） 第 2 次産業：4,657 億元（+5.2%） 第 3 次産業：6,968 億元（+4.0%）

¹ 福建省人民政府、福州市人民政府の公式サイトと「2023 年版福建統計年鑑」を基に作成

1人当たりGRP	126,829 元（+4.3%）	145,936 元（+3.6%）
平均可処分所得	都市住民：53,817 元（+5.2%） 農村住民：24,987 元（+7.6%）	都市住民：55,638 元（+4.1%） 農村住民：26,826 元（+6.4%）
実質外資利用額	49.9 億ドル（+1.8%）	11.03 億ドル（▲5.8%）
輸出入総額	2,972 億ドル（+4.2%） 輸出総額：1,819 億ドル（+8.7%） 輸入総額：1,153 億ドル（▲2.2%）	546 億ドル（+7.6%） 輸出総額：382.9 億ドル（+12.3%） 輸入総額：163.1 億ドル（+0.9%）
貨物取扱量	16 億 9,100 万トンキロ ² （+1.8%）	
旅客輸送量	6,378 万人キロ（▲23.6%）	

◆交通インフラ

福建省は、省都の福州市を国際的なターミナルと位置づけ、第 2、第 3 の都市であるアモイ、泉州を国内の交通ハブとして、整備を進めている。また、中央政府は福建省と台湾を結ぶ鉄道トンネル等の提案を行っている。

鉄道：2023 年 9 月にアモイー福州の海をまたぐ高速鉄道が開通したことが話題となった。
高速鉄道はアモイを基点に、福州から杭州あるいは黄山方面、龍岩から南昌方面などほぼ全方位に接続している。

福州、アモイは地下鉄、武夷山の麓の新区では軌条交通の整備が進む。

道路：省内の高速道路の累積距離は 6150 kmを超え、省内 8 割以上の都市が 30 分圏内で結ばれている。基幹道路などは 11000 km、自動車の通行可能な道路は 100 万kmを超える。

空港：アモイの高崎国際空港と福州の長楽国際空港が海外との出入口で、その他に泉州晋江、武夷山、龍岩、三明沙県³の国内空港がある。

福州長楽国際空港(FOC)は、国内線 72 路線、国際線 12 路線で国内外 84 都市を結ぶ。

廈門高崎国際空港(XMN)は、省内で最大の空港。国内線 83 路線、国際線 26 路線で国内外 109 都市を結ぶ。

港湾：長大な沿海部を持つ福建省には各地に港湾があり、貨客船の泊地は 457 カ所、

² 物流用語。トンキロとは、貨物の輸送量を表す単位のこと、貨物の重量（トン数）にそれぞれの貨物の輸送距離（キロメートル）を乗じて算出する。

³ 三明沙県空港(SQJ)は、南沙諸島に作られた空港。中国国内 7 都市を結ぶとしている。

1 万トン以上の大型船の泊地は 198 カ所ある。1 億トン以上の取り扱い可能港は 3 か所。2022 年の貨物取扱量は 7.14 億トンで、標準コンテナ換算で 1800 万 TU になる。島嶼部が多いことから、500 人以上の居住がある島とは定期便、100 人以上の島には旅客埠頭を建設している。

◆日系企業の進出状況⁴

進出企業は 2022 年末で 120 社、在留邦人は約 670 名。機械、電器産業などの製造業を中心に展開している。日本との取引は以下の通り。

輸出入額 97.3 億ドル（2020 年、対前年比 2.7%増）

輸出額 62.3 億ドル（2020 年、対前年比 2.5%減）

輸入額 35.0 億ドル（2020 年、対前年比 13.4%増）

◆福建省に本社がある中国の有名企業

＜寧徳時代新能源科技（CATL）＞

電気自動車（EV）向けの電池を製造。国内シェアは約 5 割の中国最大手のメーカーで、2017 年からは世界シェアでもトップを誇る。国内の大手自動車メーカーのほか、テスラ、BMW、ダイムラー、フォルクスワーゲン、日系各社など世界の主要メーカーに供給している。世界各地に自前の鉱山を所有し、製造工場もドイツ、インドネシアなどに展開する。

＜アモイ建発集団公司＞

1980 年にアモイ経済特区が成立する際に設立した国有企業。2022 年の世界 500 強（69 位）に選ばれた。営業収入は 8400 億元、資産規模は 7200 億元で、福建省ではトップに位置する。従業員は 6 万人以上を誇る。

⁴広州総領事館の発表等をもとに作成

(3) その他情報

1. 日本の友好都市・姉妹都市

	日本の都市	福建省の都市	締結年月日
1	長崎・長崎市	福州市	1980 年 10 月 20 日
2	沖縄・那覇市	福州市	1981 年 5 月 20 日
3	長崎県	福建省	1982 年 10 月 16 日
4	長崎・佐世保市	アモイ市	1983 年 10 月 28 日
5	沖縄・浦添市	泉州市	1988 年 9 月 23 日
6	長崎・諫早市	漳州市	1991 年 4 月 15 日
7	長崎・平戸市	南安市	1995 年 10 月 20 日
8	沖縄・宜野湾市	アモイ市	1995 年 11 月 20 日
9	沖縄県	福建省	1997 年 9 月 4 日
10	北海道・伊達市	漳州市	2010 年 4 月 7 日

2. 福建省の名所（写真はインターネットから引用）

福建省では、観光は一大産業である。武夷山や土楼など世界遺産 5 カ所、さらに海上シルクロードなど登録申請中も 5 カ所あり、訪れる観光地や名所旧跡には事欠かない。

土楼（どろう）

福建省南西部の内陸各地にあり、中庭を円形あるいは方形で囲んだ土と木材で作られた集合住宅。15 から 20 世紀にかけて作られたもので、厚い壁の内側は 3 ～ 4 階建の住宅になっており、最大規模ならば 800 人が暮らしていた。漢民族の百客人が作った住居で、軍事や盗賊対策として地上階には窓はなく、上階には銃撃する狭間などが設けられている。2008 年に 46 の土楼がユネスコ世界遺産に登録された。

鼓浪嶼（コロンス島）

コロンス島は、福建省廈門市の海峡沿いにある小さな島で、2017 年に世界文化遺産に登録されている。アヘン戦争後（1843 年）にアモイが商業港として開港し、1903 年には外国人のための共同租界地がこの島に設立された。島内には、旧日本国領事館など各国の外交施設が立ち並び、伝統的な中国建築とアール・デコやアール・ヌーヴォーなどの当時のヨーロッパの最先端の建築様式が融合したアモイ・デコ様式という独自の建築物が残されている。

武夷山（ぶいさん）

中国の江西省と福建省の境界にまたがる黄山（2158 メートル）を中心とする約 550 キロメートル、海拔は 1000 メートル前後の山系の総称。1999 年以降ユネスコの世界遺産（複合遺産）に登録。450 種以上の脊椎動物、5000 種以上の昆虫、2500 種以上の植物が現在までに確認されている。武夷山の茶は香りと味が良く、「武夷岩茶」「大紅包」は最高級品とされる。

3. 福建省の名物料理

梅菜扣肉（メイツァイコウロウ）

豚肉の煮込み料理。黒砂糖と醤油で下味をつけた茹でた豚バラ肉をさらに蒸して香りをつけたもの。甘味に加えてとろとろの舌触りが楽しめる。

佛跳牆（フォーティアオチャン）

福建省の伝統的なスープで、壺の中に乾物を中心とした高級食材を入れて、数日かけて煮込んで作る。料理の香りに釣られて僧ですら寺の塀を飛び越えて来るということが名前の意味。

鼎辺糊（ディンビエンフー）

鼎 ding は中国古代の鍋の意味。米粉に水を加えてペースト状にして鍋で煮込み、水分が抜けて固まったものを、海鮮類や椎茸などで作ったスープに入れて食す。柔らかな食感。

（５）福建省指導者の略歴

周祖翼（しゅう・そよく）書記

生年月日 ： 1965 年 1 月（58 歳）
出身地 ： 浙江省天台市
最終学歴 ： 浙江大学地質学系専攻
 同済大学理学博士
民族 ： 漢族

<主な略歴>

国家衛生・計画生育委員会副主任、四川省省長・党委員会書記などを経て現職

趙 龍（ちょう・りゅう）省長

生年月日 ： 1967 年 9 月（56 歳）
出身地 ： 遼寧省盤錦（ばんじん）市
最終学歴 ： 中国人民大学土地管理専攻
 北京大学国家行政学院、公共管理修士
民族 ： 漢族

<主な略歴>

国土資源部、自然資源部副部長、22 年北京オリ・パラ領導グループメンバー、共産党福建省常務委員、副省長、アモイ市書記などを経て現職。習近平派閩江新軍の一人。

※閩江新軍とは

習近平氏が福建省在任の 17 年間に関わった人たちを指し、代表的な人物としては蔡奇（中央政治局員）、陳希（中央党校校長）、何衛東（中央政治局員、中央軍事委副主席）、何立峰（中央政治局員、副総理）、王小洪（公安部部長）、黃坤明（広東省書記）、李書磊（中央政治局員、党宣伝部長）、陳文清（中央政治局員、前国家全部長）、尹力（中央政治局員、北京市書記）など

（６）福州市指導者の略歴

林宝金（りん・ほうきん）書記

生年月日 ： 1964 年 3 月（59 歳）
出身地 ： 福建省平和市
最終学歴 ：
民族 ： 漢族

<主な略歴>

1985 年から仕事を始め、91 年入党。福建省政府弁公庁交基建設処長、弁口庁副主任、副秘書長、南平市市長、莆田市書記、福建省副省長、福州市書記などを経て現職

吳賢徳（ご・けんとか）市長

生年月日 ： 1969 年 8 月（54 歳）
出身地 ： 福建省福清市
最終学歴 ： 福建師範大学福清分校物理系応用物理学
 中央党校卒、農業博士
民族 ： 漢族

<主な略歴>

福清海口中学教師、福州市紀律委員党風室副主任・常務委員、共青团福建省委員会副書記、福建省長樂市書記、福州市常務委員、福建省旅游局党組書記・局長などを経て現職